

## 平成 28 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地病院実習

実習生：小川 晃平

実習先：国民健康保険 平戸市民病院

実習期間：平成 28 年 11 月 1 日～11 月 24 日

実習生感想：

僕は長崎出身長崎在住ではありますが、平戸市を訪れるのは今回が初めてでした。平戸の第一印象は歴史が深く、食べ物も美味しく、自然がきれいで景色もいい素晴らしい場所だというものでした。実習期間中は主に訪問診療・介護、訪問リハビリを行う中で訪れた先の患者さんに対し口腔内診察を行わせていただきました。また、薬剤部にて調剤、放射線部にてレントゲン撮影の実習を行わせていただきました。

口腔内診察を行う中で、普段の大学での患者さんと比べ、う蝕、歯の喪失、義歯不適合を放置している患者さんが多いように感じました。平戸では、往診を行う歯医者が多くな、通院が困難な患者さんに対して、治療や検診が十分に行き届いていない現状を知りました。患者さんも口腔内の状態に悩みを抱えているものの、解決する手段がなく困っている方が多かった印象を受けました。

都心部では歯科医院が多くあり、患者さんも受診する機会が多くありますが、僻地においては需要を満たせていないのだなあと感じました。



同時期に平戸市民病院に研修に来ていた医科後期研修医の訪問診療の見学



同時に口腔内診察を行わせていただきました。

この患者さんは無歯顎で義歯も持っていましたが、下顎義歯は使っていると痛いとのことで、上顎義歯のみ使用しておられました。



作業療法士さんの訪問看護に同行させていただきました。通所が困難な患者さんのお宅へ訪問します。途中から車が通れない道のお宅もありました。



入院患者さん、通所リハビリの患者さんに対して口腔内診察、口腔の悩み相談など行いました。



医科の後期研修医の講義に参加させていただきました。



通所リハビリの施設になります。左は浴槽になり、蒸気噴射により入浴感が得られるとのことでした。



食べ物が美味しく、特に魚は絶品でした。景色もとてもきれいなところが多かったです。



実習報告会にて